

1. 2014 年度の総括

① 収支状況（表中の単位：千円）

決算見込み		予算比 (%)	前年比
収入	38,853	87.3	↓
支出	39,668	95.7	
経常収支差額	-199		

評価：4 月スタート時より、入院・施設入居が続き、年間通し稼働率の伸び悩みもあった。補正予算を組むも、赤字となる事が予想される。



② 職員配置と研修（職員数は 2015 年 1 月現在）

常勤：5 名（うち2名兼務） 非常勤：7名 非常勤看護師1名 年度途中で、常勤職員の休職及び異動があり、その部分が欠員となっている。欠員部分においては、であい一体的な動きで調整を行なっているが、小規模多機能の機能的な部分においては、補充は必要であると考え。

③ 事業内容

今年度は、であい一体化をテーマに掲げてきた。行事などを一緒に行うなどはみられたが、日々の暮らし・生活の中での一体的な動きには至っていない。しかしながら、年間通してのイメージは少しずつ行えてきている。また、今年度通して稼働率が伸び悩んだ背景には、発信力の乏しさも否めない。地域及び対外に対しての発信力の強化を同時に行っていく。

④ 品質管理

2014 年度の主課題でもあった「個の力およびチーム力の向上」においては、目の前の方との向き合いに対し、更なる理解向上も見られ、大切にしてきた関係といった部分の強化にも繋がってきている。但し、1 回/1月の常勤会議・1回/2 月の全体会議を行なっているが、情報共有及び連携といった部分においては、日々の暮らしの中における動きよっての更なる見直し改善が必要であると考え。具体的な改善方法を考え、連携強化→生活へ繋げる→暮らしへ繋げていく。

2. 2015 年度の計画

① 予算案のポイント

費目	予算(単位:千円)	前年比	算出根拠・購入物品など
収入	42,500	↗	4 月スタート 15 名を目指す。(現在 14 名+新規相談あり) 半年で、登録 20 名を目標とする。また、予防の方の受け入れを積極的に行うにあたり、区内包括支援センターとの連携強化を行なっていく。 改正による報酬改正において、新たな加算が設けられたが、現状では算定する事が厳しい状態であり、報酬減は否めない。但し、登録者増加に伴う事で、今後（※訪問加算）の算定は行える事が十分予測できる。 稼働率安定には、半年を要すると思われる。入院、施設入居もある

			<p>だろうが、後期においては継続的な平均 20 名以上を目標としていく。</p> <p>であい小規模においては、利用範囲拡大すると同時に近隣地域のニーズ吸い上げと同軸で行っていく。また、ニーズに合わせた宿泊の受け入れを積極的に行っていく為にも、関係機関への発信及び顔の見える関係構築に努めていく。</p>
支出			

② 主課題

(仮)『感謝の想いを 言葉に そして形に』
 ～ 顔の見える関係づくりと顔の見える言葉かけ そして顔の見える繋がり ～

③ 年間事業計画 (予定)

4 月	花見(桜)	10 月	日帰り旅行
4 月	花見(造幣局通り抜け)(合同)		運動会(合同)
5 月	であい4周年開設記念	11 月	紅葉観賞
	つつじ鑑賞(合同)	12 月	保育所交流(合同)
	母の日		クリスマス会
6 月	保育所交流会(合同)		忘年会(合同)
	父の日	1 月	正月(合同)
	住吉大社御田植祭	2 月	節分企画(合同)
	バーベキュー(合同)	3 月	ふらっと楽しむすみよし
7 月	七夕(流しそうめん)(合同)		
8 月	盆踊り(合同)	研修	であい高齢部門合同 年6回
	大領小PTA企画		
9 月	敬老企画(合同)		